

令和3年度 地域生活支援拠点の取り組み

今年度は、前年度に提出してもらった「緊急支援登録者情報」を障がいの種別ごとに分析することで、見えてくる地域課題を抽出するとともに、地域生活支援拠点に参加してもらうため、10月から1月にかけて相談支援事業所と短期入所事業所に対して説明を行った。

メンバー	○基幹相談支援センター ○障害者就業・生活支援センターあみ ○今治市障がい者生活支援センター ○今治市障がい者地域活動支援センターときめき ○指定相談支援事業所今ねっと ○今治市発達支援センター ○上島町住民課発達支援センター ○今治市障がい福祉課	
主な内容	4月 5月	新型コロナウイルス感染予防対策により中止
	6月 7月	○緊急支援登録者情報の具体的な運用について説明 ○緊急支援登録者情報（全体）をみて、リストに登録された人の傾向と分析を行う。
	8月 9月	新型コロナウイルス感染予防対策により中止
	10月 11月	○緊急支援登録者情報（精神障がい者）を見ながら、登録者の傾向や分析を行った。
	12月	○緊急支援登録者情報（療育手帳所持）を見ながら、登録者の傾向や分析を行った。
	1月 2月	○緊急支援登録者情報（身体障がい者）の傾向や分析は、部会中止のため、令和4年度に行う予定。
	来年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●「緊急支援登録者情報」の追加及び更新 ●緊急時にリスクの高い人の実態把握（継続） ●拠点に必要なその他の機能（体験の機会・場、専門的人材の確保・養成、地域の体制づくり）の調査検討 今年度作成した「緊急支援登録者情報」を追加更新し、引き続き緊急時にリスクの高い人の実態把握を行うとともに、基幹相談支援センターが中心となり、拠点に必要なその他の機能（体験の機会・場、専門的人材の確保・育成、地域の体制づくり）の調査検討を進め、面的機能の拡充に取り組む。

令和3年度 相談支援部会

事例検討を行い個人の課題分析を通して、そこから普遍的な地域課題を抽出、アイデア出しを行った。
また、地域生活支援拠点について話し合いを行った。

開催回数	①令和3年 6月11日(金)	⑥令和4年 1月14日(金)
	②令和3年 7月 9日(金)	⑦令和4年 3月11日(金)書面開催
メンバー	③令和3年10月 8日(金)	
	④令和3年11月12日(金)	
	⑤令和3年12月10日(金)	*4月、5月、8月、9月、2月は、 コロナウイルス感染防止対策として中止
主な内容	◆部会員紹介・自己紹介	◆今年度の取り組みについて
	◆各事業所からの連絡・報告(毎回)	◆地域生活支援拠点について(7月10月12月3月)
	◆令和2年度の地域課題へのアイデア出し	◆事例検討(毎回)
	事例提出機関	事例から抽出された地域課題
	7月 基幹相談支援センター	8050問題
	10月 障がい者生活支援センター	不登校の子どもさん、親御さんへの支援
	11月 ときめき	ひきこもりの方への支援
	12月 今ねっと	島しょ部の資源不足
	1月 ◆地域課題へのアイデア出し ◆事業実施報告(GHへレン玉川)	
	3月 書面開催 ◆事業実施報告(障害者施設きくま)	
地域課題		あれば良い社会資源・仕組み等のアイデア出し
令和2年度	不登校	フリースクール・放デイやボランティア活動を出席日数に・不登校児の保護者座談会 福祉制度利用のハードルが下がるようなSNSの発信・活用
	人間関係の希薄	民生委員、保健師との連携、勉強会・SNSを活用した地域づくり 特性がある子どもさんへの理解がある習い事等社会資源の情報が保護者に届く仕組み
	未診断の方への支援	目に見えにくい障がいへの理解を深める福祉体験学習・PTAで障がいについての啓発 民生委員や健康推進課との連携・基幹相談支援センターを増やす
	障がい福祉サービスの周知不足	市のHPで詳細掲載、発達支援部会で作成している支援体系図をいろいろなところに配置 SNSで検索した時に、障がい福祉課にヒットしやすい工夫 民生委員や事業所の家族会や地域住民が集まる場で説明
	退院支援	入所施設を増やす・病院の連携室と退院後を見据えて看護師、保健師と情報共有、連携
	金銭管理	大人になってSSTができる所・大人の困りごとを子どもを支援する事業所に伝えていける仕組み 消費者グループやお金の専門家を招致し勉強会の実施・学生時代からの金銭面の教育
令和3年度	8050問題	発達支援部会で作られている支援体系図を支援学級に関係なく全家庭に配布 地域包括支援センター、ケアマネ、民生委員などからでも情報が入ってくる共有ネットワーク⇔個人 情報の取り扱いの難しさ・支援学級卒業後の切れ目のない支援の仕組み 高齢者の方が「わたしのまちの相談先・こころの健康等相談機関一覧表」を読みやすい工夫(文字を 大きく) ひきこもりの明確な相談先づくり・ひきこもりに関するセミナーの開催
	不登校	学校と福祉をつなぐ仕組み・トライアングルプロジェクトの推進・スクールソーシャルワーカーの設置 市内に不登校支援モデル校があるが、校区外でも集まれる学校の中の居場所づくり 将来像をイメージできる体験の場・人生の先生に出会える場(放デイ、通級指導教室以外) 保護者の相談先の明確化・相談支援部会で出た事例、課題を学校教育課と共有、話し合える仕組み 放デイの利用が出席日数になる仕組み・オンライン授業、リモート連絡ができる仕組み スクールカウンセラーの活用・学習保障の為に学校でのフォロー体制
	ひきこもり	地域課題に対するアイデア出しについては、令和4年度に話し合いを行う。
	島しょ部の資源不足	地域課題に対するアイデア出しについては、令和4年度に話し合いを行う。

令和3年度 就労支援部会

開催回数	①令和3年6月17日 ②令和3年10月26日	③令和3年12月16日 ④令和4年2月17日 *8月はコロナウイルス感染防止対策として中止
メンバー	<p>○ステップ ○マルクワークス喜田村 ○ネオリサイクル ○サポートかけはし ○ローリング ○サスケ設計工房 ○ふきあげワークス ○すくらむハート ○アクティブマインド ○朝倉作業所 ○リアン ○麦の穂 ○つむぎ ○のま ○エコステーションはるかす ○サポートかけはし東鳥生 ○カイト今治 ○かえでファーム ○まんまるファクトリー ○さとやま</p> <p>○しまなみテラス ○イマバリ寺ス ○ひなた別宮 ○職人集団 ○ハローワーク ○愛媛中央産業技術専門校 ○今治特別支援学校 ○正光会今治病院 ○アキクリニック ○Dクリニック ●今治市障がい福祉課 ●今治市基幹相談支援センター ●今治ワークス ●パドル ●クリエイト21 ●マルクワークス喜田村 ●健心工房 ●プリズム ●障害者就業・生活支援センターあみ</p> <p style="text-align: right;">※●は就労支援部会事務局</p>	
主な内容 (参加事業所数)	部会で取り組むこと	一般就労にまつわるテーマと一般就労以外のテーマをもとに、 座談会や学習会、事例検討を実施し意見交換を行うことで、 支援者のスキルアップとネットワークの構築を図る。
	6月 (21事業所)	・就労支援部会の主旨説明 ・座談会(各事業所の困りごとなど)
	10月 (17事業所)	学習会 「障がい者雇用について」 講師:今治公共職業安定所
	12月 (19事業所)	事例検討 事例提供者:今治特別支援学校 カイト今治
	2月 (12事業所)	学習会(ZOOM開催) 「障がい者雇用が求める人材とは」 事例提供者:障害者就業・生活支援センターあみ 愛媛中央産業技術専門校

